

第4部 くだものの部

(1) りんご(シナノスイート) 《 審査日:平成 28 年 10 月 17 日 》

① 審査所見

長野県で育成された「シナノスイート」は、栽培しやすく商品化率が高い品種であり、平成 27 年の県内栽培面積は 710ha と「ふじ」、「つがる」に次ぐ基幹品種となっています。また、食味が良好で、消費者の評価も高く、日本農業新聞の「果実売れ筋ランキング」では、常にトップクラスに入っています。このコンクールは、県内での産地育成と栽培技術及び品質の向上を図ることを目的に、平成 15 年から実施されており、本年も県内各地から 46 点の出品がありました。

審査は、審査基準に基づき色沢、玉揃い、形状、糖度、軽欠点果等を審査し、糖度測定には簡易型の光センサーを活用し、食味にも配慮した審査とするなど厳正かつ公正に行いました。

本年のりんごは、4月の凍霜害、9月の多雨と日照不足、10月の台風襲来など気象災害に翻弄された一年でした。特に4月 11～12 日の厳しい低温により開花前の花器が褐変するなど大きな被害が発生し、10月5日の台風 18 号では中信地域を中心に落果被害が多く発生しました。

この様な生産条件でありましたが、今回の出品物は、いずれも日頃の丹精込めた管理が推察され、生産者の栽培技術を競うコンクールにふさわしい果実でありました。

出品財の平均糖度は、14.0%と昨年と同程度でした。上位入賞品は、糖度は高く、特に着色は素晴らしく仕上がっており、葉摘みや玉回しなどの管理も行き届いていました。果形や玉揃も良好で、軽欠点もなく、選果・出品技術の高さもうかがえました。入賞を逃した出品財も遜色ないものが多く、その差は果実の大きさのばらつき、果形不良、葉や枝かげによる着色ムラなど極些細な欠点によるものでした。全体としては、栽培面積の増加にともない栽培技術も着実に向上していると感じましたが、入賞に向けては一層きめ細かな管理・選果をお願いします。

なお、出品財の中に反射シートを利用していると思われるものがありました。反射シートを利用すると地色が見えなくなり、心かび果除去のための早期着色果の判定がわかりにくくなるので、利用は控えていただいた方が良いでしょう。

出品者の皆様には、県オリジナル品種の栽培に積極的に取り組まれ、気象災害などがあつた中で、栽培技術の粋を尽くした果実を多数出品いただいたことに感謝申し上げます。また、受賞されました皆様にお祝いを申し上げますとともに、今後とも各地域での生産振興に先導的にご尽力いただきますことをお願い申し上げ、審査所見といたします。

② 入賞者名簿

区 分	氏 名	市 町 村
農林水産大臣賞	古幡豊和	山ノ内町
長野県知事賞	伊藤剛史	箕輪町
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	渡辺幸一	山ノ内町
	藤沢一	中野市
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	平林慎也	松川村
全国農業協同組合連合会長野県本部長賞	平林栄美子	松川村
一般財団法人長野県果樹研究会会長賞	今井隆寛	立科町
	神田茂貞	中野市

(2) りんご(シナノゴールド) 《 審査日:平成 28 年 10 月 25 日 》

① 審査所見

「シナノゴールド」の栽培技術及び品質の向上を目的とした本コンクールも、今年で 13 回目を迎えました。年々品質の向上が実感されており、関係各位には本品種の振興に多大なご協力を賜り厚く御礼申し上げます。本年は県下各地から 26 点の出品がありました。

審査は、審査基準に基づき色沢、玉揃い、形状、糖度、軽欠点果等を審査し、糖度測定には簡易型の光センサーを活用し、食味にも配慮した審査とするなど厳正かつ公正に行いました。

本年は、4月の凍霜害、9月の多雨と日照不足、10月の台風襲来など気象災害に翻弄された一年でした。特に4月 11～12 日の厳しい低温により開花前の花器が褐変するなど大きな被害が発生し、10月 5日の台風 18 号では中信地域を中心に落果被害が多く発生しました。また、裂果、さび果及び赤色斑点果などの発生により果実品質の低下が目立ちました。

このような生産条件のため昨年に比べて出品数が少なかったのですが、今回の出品物は、いずれも日頃の丹精込めた管理が推察され、生産者の栽培技術を競うコンクールにふさわしい果実でありました。

出品財の平均糖度は、13.9%と昨年と同程度でした。色沢は、着色期の天候不順の影響か、やや黄色の着色が薄いものが多いと感じました。しかし、上位入賞されたものは、黄色に仕上がっており大変すばらしいもので、玉揃いや形状も良好でした。惜しくも入賞を逃した出品財は、着色の不足、果形不良、押し傷やさび果などの軽欠点果が混入していました。「シナノゴールド」は黄色品種であるために、押し傷などが目立ちやすい傾向ですので、より丁寧な取り扱いをお願いします。

「シナノゴールド」は、食味や貯蔵性など優れている点が多く非常に魅力的な品種ですが、高品質生産に向けては、適期収穫の徹底、裂果発生の軽減、病害防除の徹底等いくつか課題はあります。これらを克服して、おいしい「シナノゴールド」を消費者にお届けすることが、長野県のりんご産地維持並びに生産者の経営向上には必要なことと存じます。

さらなる「シナノゴールド」の商品力向上が図られますよう、関係各位の御協力をお願いするとともに、りんご産業の益々の振興をご祈念申し上げ、審査所見といたします。

② 入賞者名簿

区 分	氏 名	市 町 村
農林水産省生産局長賞	山口正樹	宮田村
長野県知事賞	平林智彦	松川村
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	青木克敏	須坂市
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	二木武志	安曇野市
全国農業協同組合連合会長長野県本部長賞	湯本幸作	山ノ内町
一般財団法人長野県果樹研究会会長賞	花岡武彦	東御市
	野口武彦	長野市

(3) ぶどう(ナガノパープル、シャインマスカット) 《 審査日:平成 28 年 9 月 13 日 》

① 審査所見

49回目を迎えた本コンクールは、種なしで皮ごと食べられる品種を更に推進するため、「ナガノパープル」と「シャインマスカット」を対象に行いました。今回は本県オリジナル品種である「ナガノパープル」の生育が早めに推移したため、収穫時期に合わせ例年より早めに開催しました。

本年は、ぶどうの開花期が早まり、幼果期以降の降雨が順調にあったため肥大が良好でした。梅雨明け後の7月中旬以降は高温強日射で経過し、日焼け果や縮果症が一部で発生しましたが、8月中旬以降も晴天日が続いたため、裂果などの障害果粒の発生はほとんど見られませんでした。

このような状況の中、本年のコンクールの出品点数は「ナガノパープル」51点、「シャインマスカット」49点の計100点であり、優れたぶどうがここ数年では最も多く出点されましたことは、生産者及び関係機関のたゆまぬ努力の成果であると存じます。

「ナガノパープル」につきましては、全体に着色は良好で果てい部まで紫黒色に仕上がっていました。房形は、ゆるめのにぎり房を意識して作られておりましたが、肩部の着粒が少ない房や密着により果粒が変形している房も一部に見られ、摘粒作業の改善が必要と感じました。果粒肥大は全体に良好で、目標の15gを上回る房がほとんどでした。粒数制限が徹底されており、房揃いも良好でしたが、果房内で肥大のばらつきがやや見られました。平均糖度は20.9%と高く食味は良好でしたが、果肉のやや柔らかい房もみられました。なお、ブルームはきれいな房がある一方、溶脱が目立つ房もみられました。

「シャインマスカット」につきましては、収穫基準である黄緑色に着色した房が多く、前年まで見られた緑色の濃い房はわずかでした。平均糖度は昨年より高く17.6%で食味も良好でしたが、やや糖度のばらつきも見られました。房形は、粒の形を保ったままにぎり房に仕上げた理想的な房が多く、摘粒不足で果粒が密着した房や大房は昨年に比べ減少しました。なお、うどんこ病の発生が一部にみられましたので、関係機関と協力し防除の徹底をお願いします。

審査の結果、上位入賞されたものは、房形、着色、果粒肥大、食味などが総合的に優れており、模範となるぶどうに仕上がっていました。関係者による指導の賜物と拝察いたします。

ぶどう産業は品種構成が大きく変わる時期にあり、産地間競争の激化も見られています。本県として統一的な品質向上が図られるよう関係各位のご協力を賜りますことをお願いするとともに、各産地がますます発展されることをご祈念申し上げ、審査所見といたします。

② 入賞者名簿

ナガノパープル

区 分	氏 名	市 町 村
長野県知事賞	小林傳	東 御 市
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	越智仁	須 坂 市
	山岸賢一	須 坂 市
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	清水仁	東 御 市
全国農業協同組合連合会長野県本部長賞	関野和人	須 坂 市
	浅沼幸治	中 野 市
一般財団法人長野県果樹研究会長賞	関野兼一	須 坂 市

シャインマスカット

区 分	氏 名	市 町 村
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	伊藤秀樹	長 野 市
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	中島信章	須 坂 市
	渋谷光太郎	須 坂 市
全国農業協同組合連合会長野県本部長賞	若林淳	東 御 市
一般財団法人長野県果樹研究会長賞	石橋眞宣	須 坂 市
	毛利常男	須 坂 市